

大隈の函

只下出帆の関下へ存あり兩廿年同次
し候上地ト約束の中一重なる何れ様
あり出帆と書紙の致す其儘成候は候
定まり先決か下は候に候之行下は
中々
尚ん此の相を措帯を申上地は使
精進候意あり候と申今迄は
つらうにやう

謹啟 口こども 隅田丸
昨朝入港 浦口より 函朝
仕積 運る 生粉物 等を
口へ 拙者より 打系 半
関下より 厚く 言葉 秋
者 出候 行 方 申 告
申 候 子 一 候 候
上申 早し 申 候

平井 孝 昌

大隈の関下

函 啟 今 朝 十 二 時 迄 申 候

